

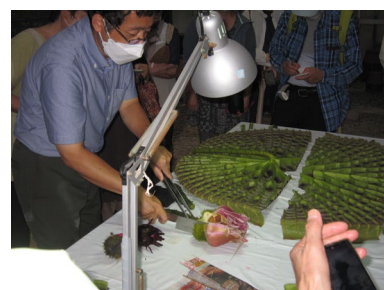
夜間特別開園のお知らせ ～夜咲き熱帯スイレン観察会を開催！～

大阪公立大学附属植物園は、2025 年 9 月 5 日（金）・6 日（土）の 2 日間「夜間特別開園」を実施します。また、6 日（土）には「夜咲き熱帯スイレンの観察会」を開催しますので、広くご周知いただくとともに、ご取材についてご検討いただきますよう、よろしくお願いいたします。

☛ [ご取材のポイント]

・夜咲き熱帯スイレンの開花の様子を観察できます

通常は閉園している 17 時から開園し、20 時 30 分まで観察いただけます。夜咲き熱帯スイレンの花は、19 時頃から咲き始め、翌朝 9 時頃に閉じ、これを 2 日間繰り返します。夜間に色鮮やかな花を咲かせ、強い芳香を出すことで夜行性昆虫を誘引し、花粉を送粉してもらうのが特徴です。



過去の夜咲き熱帯スイレン観察会の様子

・専門家による解説を実施

9 月 6 日（土）は 18 時から 30 分間、当園のスタッフや本学理学研究科 厚井 聡准教授が、夜咲き熱帯スイレンの開花の仕組みを解説します。また、夜咲き熱帯スイレンの仲間であるパラグアイオニバスも観察します。

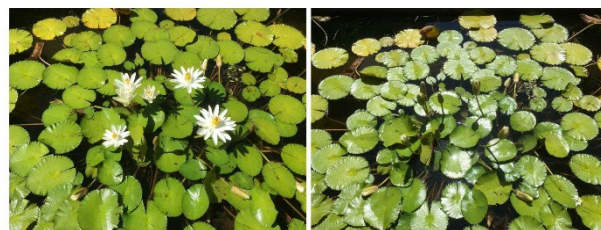
葉の裏側や内部構造、さらには花の断面を観察し、巨大な葉が水面に浮く仕組みや、昆虫を巧みに利用した送粉様式について説明します。



切断されたパラグアイオニバスの葉と花

<昼咲きと夜咲きの熱帯スイレンについて>

昼に花を開き、夜に閉じる現象は「就眠運動」と呼ばれ、タンポポやチューリップなど身近な植物で観察できます。熱帯スイレンの花も就眠運動をしていますが、昼に開花する一般的な就眠運動をする系統と、昼夜が逆転して夜間に開花する系統があり、それぞれ「昼咲き」「夜咲き」と呼ばれています。



9:30 では開花しているが(左)13:30 では閉じているのがわかる(右)

どちらも紀元前の古代エジプトで栽培が始まったとされ、東アフリカなどの熱帯に自生しており、さまざまな園芸品種が作られています。

今回のイベントでは、夜咲き熱帯スイレンを中心に、皆さまに鑑賞していただきます。

【イベント概要】

■夜間特別開園

- 1.開催日時 2025 年 9 月 5 日（金）・6 日（土）
各日ともに 17 時 00 分～20 時 30 分（雨天実施）※最終入園は 20 時 00 分
- 2.会場 大阪公立大学附属植物園（熱帯スイレンプール周辺の限定エリア）
アクセス：京阪電車交野線「私市（きさいち）」駅下車、徒歩約 6 分
- 3.入園料 400 円
※中学生以下無料
※障がい者手帳、知的障がい者療育手帳及び精神障がい者保健福祉手帳をお持ちの方は、手帳の提示により本人と付添の方 1 名は、入場料無料
※大阪府在住の満 65 歳以上の方で、住所・年齢の分かる公的証明書を提示された方は、入園料 300 円
- 4.参加方法 事前申込不要
- 5.注意事項
 - ・中学生以下は入園無料ですが、必ず保護者が同伴してください
※保護者の方は入園料が必要です
 - ・薄暗がりでは開花を観察しますので、小型懐中電灯をご持参ください
 - ・写真撮影は自由です
 - ・夜間開園時は安全確保のため、お車での来園はお断りしております

■夜咲き熱帯スイレン観察会

- 1.開催日時 2025 年 9 月 6 日（土） 18 時 00 分～18 時 30 分（雨天実施）
- 2.内容 専門家による『夜咲き熱帯スイレンの開花の仕組みの説明会』
講師：理学研究科准教授 厚井 聡
- 3.参加料 無料
※夜間特別開園の入園料は必要です
- 4.参加方法 当日 18 時に熱帯スイレンプール付近にお集まりください（※事前申込不要）
- 5.その他： 注意事項は、夜間特別開園を参照ください
授業の一環として実施するため、一部学生が説明します

【本件に関する問い合わせ先】

大阪公立大学附属植物園 担当：中野
TEL：072-891-2059（9 時～17 時）
FAX：072-891-2101
Mail：gr-bg-info@omu.ac.jp

【取材に関する問い合わせ先】

大阪公立大学 広報課
担当：久保
TEL：06-6967-1834
Mail：koho-list@ml.omu.ac.jp